

モスの株主通信



第35期 報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

株式会社モスフードサービス



代表取締役社長CEO

橋 谷 武

当期の業績についてご報告いたします。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。当期の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期は、緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。外食産業においては、業界内外の競争の激化、原材料費の上昇や原油価格の高止まりによる運賃コストの高騰、優れた人材を確保するためのコスト上昇など、経営環境は依然として楽観を許さない状況が続きました。

こうした経営環境の中で、当社グループは、「人間貢献」、「社会貢献」の経営理念のもと、「食を通じて人を幸せにすること」を企業目標として、「おいしくて、安全で、健康に良い商品」を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでまいりました。また、平成17年4月からスタートいたしました中期経営計画「V.I.P.21」に基づき、モスバーガー事業の業態進化の推進、関連事業の黒字化、海外市場の開拓などの施策にグループ全社が一

丸となって挑戦してまいりました。しかしながら、当期の連結業績は、売上高598億90百万円、営業利益13億80百万円、経常利益21億90百万円、当期純利益2億2百万円となりました。

モスバーガー事業の強化に取り組んでまいります。

今後も景気は回復基調を辿ると予想されるものの、外食産業においては、お客様ニーズの多様化、少子・高齢化の進行および人口の減少など、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。こうした中、当社はモスバーガー事業の営業体制を強化すべく、直接店舗指導にあたるスーパーバイザーを大幅増員する組織変更を実行いたしました。平成19年4月13日からは、「モスバーガー」「テリヤキバーガー」など、既存主力商品を大幅に刷新する「定番革新」と並行して、当社にとっては初の試みとなる割引クーポンの配布をはじめとしたキャンペーンを大々的に展開いたしております。これからも、創業35周年記念としてこうした定番商品のリニューアルを継続して行ってまいります。また、来期の販売施策スローガンを「今日、モス気分。」と定め、「つついモスに行きたくなるきっかけづくり」を提供し、売上高、来店客数の増大に取り組んでまいります。

現在、当社グループは、中期経営計画「V.I.P.21」の達成に向け、企業体質のさらなる強化を図り、全社一丸となって取り組んでいるところでございます。株主の皆様におかれましては、引き続き、あたたかいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

まっさらな、おいしさ 新モスバーガー、新テリヤキバーガー、できました。

当社では、「さらにおいしく、食べやすく」をコンセプトに、主力商品の「モスバーガー」「テリヤキバーガー」を全面的に刷新いたしました。パティ（ハンバーグ）には10年ぶりに牛と豚の合びき肉を使用し、バンズ（パン）もよりソフトでしっとりした食感に改良、ソースも変えて、これまで以上の「おいしさ」を提供いたします。



新バンズ

風味豊かで、しっとり、よりソフトな食感に。新パティとも相性バツグン。

新ミートソース

さっぱりとした後味に改良。セロリやにんじんも加わって、野菜の甘さもアップ。

新パティ

ビーフとポークの合びきで、お肉の旨みたっぷり。よりジューシーで、弾力ある食べごたえ。

モスの人気商品

ファストカジュアル業態の「緑モス」では、高付加価値で食事性の高い限定商品を提供いたしております。究極の高品質バーガー「ニッポンのバーガー匠味（たくみ）」シリーズを刷新するとともに、販売数量や時間帯の限定をなくし、緑モス全店で全時間帯での販売をスタートしました。また、平成18年8月から、「緑モス」限定の新カテゴリーメニューとして「モスのごはん」を開発いたしました。ランチに、夕食に、またシニア層やファミリー層など、幅広いお客様にお喜びいただいております。



「サラダごはん
タコライス」
(税込480円)



「ニッポンのバーガー匠味」(税込580円)



「スープごはん
ユッケジャン」
(税込590円)

モスの商品

上半期の新商品

季節感のある創作料理シリーズ 「ナン・カレー」



「ナン・カレー」
(税込360円)

レタスの上にじっくりと焼き上げた鶏肉ミンチのケバブをのせ、ピリッと辛いカレーソースとさっぱりとしたヨーグルトソースをかけた「ナン・カレー」を、季節限定で販売いたしました。

平成18年7月7日～8月下旬販売

季節感のある創作料理シリーズ 「フィッシュマリネバーガー」



「フィッシュマリネバーガー」
(税込330円)

定番人気の「フィッシュバーガー」をアレンジした「フィッシュマリネバーガー」を、期間限定で販売いたしました。フィッシュフライを甘酢のタレやマリネサラダと合わせ、さっぱりとした味わいのハンバーガーに仕上げました。

平成18年9月1日～10月下旬販売

農業生産法人サングレイスを設立

当社では、モスバーガー店舗で使用する生鮮野菜の安定調達と農業生産地との協力体制強化を目指し、平成18年2月、「株式会社野菜くらぶ」などとの共同出資で、農業生産法人・株式会社サングレイス（静岡県菊川市）を設立いたしました。当面、静岡県1カ所、群馬県2カ所に建設する全天候型耐候性ハウスで、端境期があり、天候の影響を受けやすいトマトを栽培し、今夏からモスバーガーチェーンに供給を開始いたします。



下半期の新商品

季節感のある創作料理シリーズ 「キノコのクリームフォカッチャ」



「キノコのクリームフォカッチャ」
(税込340円)

冬の定番メニュー「フォカッチャ」の新商品として、「キノコのクリームフォカッチャ」を販売いたしました。冬に人気のクリームシチューをオリジナルの白いソースに仕上げ、馬蹄型ソーセージとキャベツの上にとっぷりとかけて、温かなフォカッチャで挟みました。

平成18年12月26日
～平成19年2月中旬販売

季節感のある創作料理シリーズ 「デミカツドッグ」「チーフォンドッグ」



「デミカツドッグ」
(税込290円) 「チーフォンドッグ」
(税込330円)

幅広い年代に人気のあるヒレカツにデミグラスソースをかけた新感覚のホットドッグ「デミカツドッグ」とソーセージにマッシュポテトとチーズフォンデュを添えた贅沢な味わいの「チーフォンドッグ」(緑モス限定商品)を販売いたしました。

平成19年2月16日～4月中旬販売

「四季の旬菜料理 AEN」 中食市場に参入

平成19年3月28日、食まわりビジネスの拡大策の一環として、初の惣菜専門店「自由が丘あえん おそうざい 新宿伊勢丹店」(伊勢丹新宿本店地下1階、店舗面積1.8坪)を開店いたしました。外食産業が縮小傾向にある中、いわゆる中食市場は成長を続けており、今後も拡大が見込まれています。こうした現状を踏まえ、当社では、「AEN」ブランドを活用し、中食市場へと進出いたしました。同店は、レストラン「四季の旬菜料理 AEN」でご好評いただいております旬菜料理の美しい盛りつけのお皿料理を、そのままパッケージ化したものを販売いたしております。



chef's V



chef's V 丸ビル店

このたび当社では、平成19年3月をもって「野菜」をテーマとしたレストラン「シェフがつくる野菜たち『chef's V』(=シェフズブイ)」を展開する株式会社ヒューリブより事業譲渡を受けることといたしました。「chef's V」の経営が、当社の『おいしさ』へのこだわりに合致すると考えております。また、当社の野菜調達力を活かしたレストラン経営に、より付加価値の高い店舗へ発展させることが可能であると判断いたしました。

モスグループの紹介

当社グループでは、事業の第二、第三の柱を確立するため、紅茶・スイーツ専門店の「マザーリーフ」、セミセルフ・スタイルのカフェ「カフェ・レジェロ」(25店舗)、ハンバーグとオムライスのお店「ステファングリル」(15店舗)、中華そば専門店「ちりめん亭」(78店舗)、旬菜料理のレストラン「AEN」(8店舗)、野菜をテーマとしたレストラン「chef's V」(4店舗)の各事業を展開いたしております。(※平成19年3月末現在)



マザーリーフ 札幌イケウチ店



カフェ・レジェロ ダイヤモンドシティ名取店



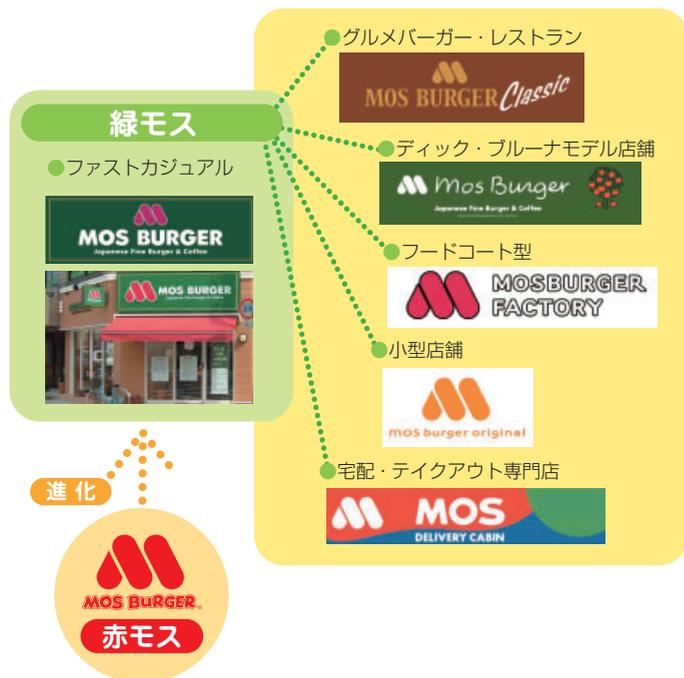
ステファングリル 稲毛サティ店



ちりめん亭 上石神井店

立地特性に応じた店舗開発へ

立地特性に応じた業態



当社の柱であるモスバーガー事業の業績向上を目指して、「緑モス」への業態転換を柱とし、お客様の多様なニーズに応えるべく、立地に応じてハンバーガーを主力商品とするマルチ業態戦略を推進しております。高級グルメバーガーを提供するハンバーガー・レストラン「モスバーガークラシック」、「緑モス」をアップグレードさせた「ディック・ブルーナモデル店舗」、フードコート対応型店舗「モスバーガー ファクトリー」、狭小商圏対応の小型店舗「モスバーガーオリジナル」、宅配・テイクアウト専門店「モスバーガーデリバリーキャビン」など平成22年3月末までに全店舗へ適用させたいと考えております。



ディック・ブルーナモデル店舗
銀座カフェ銀座ナイン店



モスバーガーファクトリー
ダイヤモンドシティ熊本クレア店

モスの出店情報

モスバーガークラシック

平成19年4月21日、高級グルメハンバーガーを提供するハンバーガーダイニングの新業態店舗「モスバーガークラシック ノースポートモール店」をオープンいたしました。一般的なファストフードのハンバーガーとは異なり、パティ(ハンバーグ)に和牛を使用するなど、高品質な食材を使用し、注文ごとに調理したボリューム感のあるハンバーガーをフルサービスで提供いたします。内装は、木目と白壁のアメリカン・クラシック・スタイルで、気軽にカフェとしてもご利用いただけます。



モスバーガーオリジナル

モスバーガーオリジナルは、二等地戦略の新版ともいえるもので、狭小商圏対応の小型店舗です。メニューもハンバーガーアイテムに絞り、地域に密着した店舗展開を行ってまいります。現在、2店舗を展開いたしております。



人形町店



池上駅前店

モスバーガーデリバリーキャビン

平成19年2月10日、宅配とテイクアウト専門の新型店舗「モスバーガーデリバリーキャビン 北砂店」を出店いたしました。従来の「モスバーガー」の既存商品だけでなく、ピザやサイドメニューを組み合わせたバラエティボックスなどの専用メニューも販売いたしております。



モスの海外展開

「日本のモス」から「アジアのモス」へ、アジア諸国の市場開拓

当社では、平成3年に台湾・台北市内にモスバーガーの海外店舗をオープンして以来、積極的な海外市場の開拓に取り組んでまいりました。その後、台湾地域では順調に出店が進み、平成19年1月5日の台湾新幹線開通に合わせて6店舗が同時オープンし、現在123店舗^{*}となっております。また、平成5年に初出店したシンガポールでは22店舗^{*}、平成18年10月に初出店した香港ではすでに3店舗^{*}を展開しております。平成19年3月30日には、タイ・

バンコク市内繁華街の大型ショッピングセンター「セントラルワールド」内に、タイ1号店となる「モスバーガー セントラルワールドプラザ店」を出店いたしました。今後も今回のタイをはじめ、オーストラリア、韓国などのアジア・パシフィック地域での早期出店を目指してまいります。(※平成19年3月末現在)



タイ1号店 セントラルワールドプラザ店



香港1号店 apm店

財務諸表

●連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨) 単位: 百万円

	第34期 (平成18年3月31日現在)	第35期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	16,730	17,189
固定資産	29,408	29,378
有形固定資産	8,967	10,474
無形固定資産	1,635	1,733
投資その他の資産	18,805	17,171
資産合計	46,139	46,568
(負債の部)		
流動負債	9,169	9,429
固定負債	1,881	2,531
負債合計	11,051	11,961
(少数株主持分)		
少数株主持分	15	-
(資本の部)		
資本金	11,412	-
資本剰余金	11,100	-
利益剰余金	15,911	-
その他有価証券評価差額金	441	-
為替換算調整勘定	△61	-
自己株式	△3,733	-
資本合計	35,071	-
負債、少数株主持分及び資本合計	46,139	-
(純資産の部)		
株主資本	-	34,073
評価・換算差額等	-	464
新株予約権	-	41
少数株主持分	-	27
純資産合計	-	34,607
負債及び純資産合計	-	46,568

連結損益計算書(要旨) 単位: 百万円

	第34期 (平成17年4月1日~平成18年3月31日)	第35期 (平成18年4月1日~平成19年3月31日)
売上高	58,216	59,890
売上原価	33,364	33,705
売上総利益	24,852	26,185
販売費及び一般管理費	22,537	24,804
営業利益	2,315	1,380
営業外収益	2,883	2,727
営業外費用	2,004	1,917
経常利益	3,194	2,190
特別利益	1,034	184
特別損失	1,290	963
税金等調整前当期純利益	2,939	1,411
法人税、住民税及び事業税	129	140
法人税等調整額	1,717	1,073
少数株主損失	0	5
当期純利益	1,092	202
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 単位: 百万円		
	第34期 (平成17年4月1日~平成18年3月31日)	第35期 (平成18年4月1日~平成19年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,920	4,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,289	△2,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,467	△296
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	16
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額△)	△1,823	1,025
現金及び現金同等物期首残高	7,485	5,667
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	5	208
関係会社合併による現金及び現金同等物の増加額	-	3
現金及び現金同等物期末残高	5,667	6,905

7 財務諸表は、HPの「IRライブラリー」でご確認いただけます。

●単体財務諸表

単体貸借対照表(要旨) 単位: 百万円

	第34期 (平成18年3月31日現在)	第35期 (平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	15,546	14,760
固定資産	27,849	27,977
有形固定資産	6,263	6,085
無形固定資産	1,545	1,627
投資その他の資産	20,041	20,264
資産合計	43,395	42,737
(負債の部)		
流動負債	6,665	6,171
固定負債	2,012	2,288
負債合計	8,678	8,460
(資本の部)		
資本金	11,412	-
資本剰余金	11,100	-
利益剰余金	14,817	-
その他有価証券評価差額金	441	-
自己株式	△3,054	-
資本合計	34,717	-
負債及び資本合計	43,395	-
(純資産の部)		
株主資本	-	33,757
評価・換算差額等	-	478
新株予約権	-	41
純資産合計	-	34,277
負債及び純資産合計	-	42,737

<http://www.mos.co.jp/company/ir/library/>

単体損益計算書(要旨) 単位: 百万円

	第34期 (平成17年4月1日~平成18年3月31日)	第35期 (平成18年4月1日~平成19年3月31日)
売上高	51,657	48,013
売上原価	31,975	30,796
売上総利益	19,682	17,217
販売費及び一般管理費	16,807	15,350
営業利益	2,874	1,866
営業外収益	2,997	2,935
営業外費用	2,184	2,104
経常利益	3,687	2,697
特別利益	1,151	214
特別損失	1,274	1,671
税引前当期純利益	3,563	1,240
法人税、住民税及び事業税	46	36
法人税等調整額	1,711	1,033
当期純利益	1,806	170

「モスバーガーIRサイト」のご紹介

最新の投資家向け情報および企業情報などをご紹介します。

<http://www.mos.co.jp/company/>

「モスバーガーIRメール」会員登録のお勧め

月次情報や決算情報といったIR情報を中心に、モスバーガーに関する情報をいち早くお届けする無料メール配信サービスです。

<http://www.mos.co.jp/company/ir/mailnews/>
このページより登録していただけます。

8

モスの社会・環境活動

モスの「キッズニア」への出展

当社では、平成18年10月、子供たちが楽しみながら社会の仕組みを学ぶ職業体験テーマパーク「キッズニア」(東京都江東区)内にパビリオン「ハンバーガーショップ」を出展し、常時、子供たちの食育につながるプログラムの提供を開始いたしました。



モスの食育活動

モスバーガーでは「人間貢献」、「社会貢献」の経営理念のもと、食に携わる企業の社会的使命として食育に取り組んでいます。お店1店1店が自主的に取り組むもので、お店のスタッフが学校へ赴き、健全な心と体を培うように食育の授業を行っています。当期は、58施設3,892名の児童が受講いたしました。



モスの環境活動

お持ち帰り用ポリ袋、石油系プラスチックカップを廃止

モスバーガー全店舗では、脱石油化を目的に平成18年7月1日より、お持ち帰り用ポリ袋ならびに石油系プラスチックカップを無漂白紙バッグならびにバイオマス製プラスチックカップへ変更いたしました。



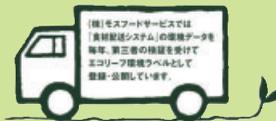
環境省との「自主協定」締結



当社は、循環型社会の構築と地球温暖化の防止に向けた取り組みを推進するため、外食業界としては初となる「環境保全に向けた取組に関する協定」(有効期間は1年間)を環境省と締結いたしました。

物流における「エコリーフ環境ラベル」の認証取得

おいしい野菜を環境配慮のもとでお届けするという考えから、食材配送システムとして初めて、「エコリーフ環境ラベル」の認証を、平成19年2月6日に取得し、野菜配送時の環境負荷の情報を開示いたしました。



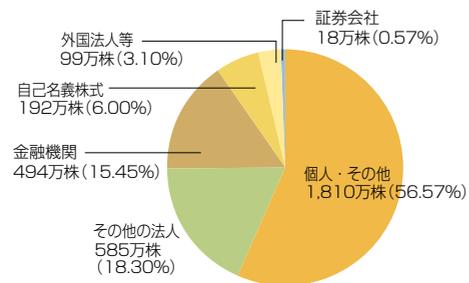
会社情報

●株式の情報 (平成19年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式の総数 101,610,000株
 発行済株式の総数 32,009,910株
 株主数 24,711名
 (うち単元株主数24,482名)

所有者別株式分布



大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
紅梅食品工業株式会社	1,400	4.66
日本生命保険相互会社	1,343	4.47
株式会社ニッソー	1,214	4.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	829	2.76
大同生命保険株式会社	790	2.63
山崎製パン株式会社	618	2.05
AIUインシュアランスカンパニー オールディー4プロド	591	1.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	451	1.50
日本ハム株式会社	431	1.43
櫻田 健	360	1.20

自己株式数1,921千株は議決権がないため上記大株主より除外しております。

●会社概要

商号 株式会社モスフードサービス
 MOS FOOD SERVICES, INC.
 本社 〒162-8501 東京都新宿区単筒町22番地
 設立年月日 昭和47年(1972年)7月21日
 資本金 114億1,284万円(平成19年3月31日現在)
 主な連結子会社 株式会社エム・エイチ・エス
 株式会社モスクレジット
 株式会社トモス
 株式会社四季菜 など17社
 他に、持分法適用関連会社2社
 役員 (平成19年6月27日現在)

代表取締役社長 CEO	櫻田 厚
取締役専務執行役員 COO	田村 茂
取締役専務執行役員 CFO	石川 芳治
取締役常務執行役員	齋藤 眞澄
取締役常務執行役員	吉野 登
取締役常務執行役員	堀田 富雄
取締役上席執行役員	中井 順章
執行役員	増倉 章
執行役員	齊藤 紀行
執行役員	中村 栄輔
執行役員	石橋 均
執行役員	渡邊 次郎
執行役員	原口 恒臣
執行役員	福島 竜平
執行役員	都築 好美
執行役員	山口 伸二
常勤監査役	松村 克一
常勤監査役	長根 操
監査役	久留島 隆
監査役	羽根川 敏文

株式についてのご案内

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金基準日 3月31日
中間配当金基準日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所 東京証券取引所
公告方法 公告掲載 URL
<http://www.aspir.co.jp/koukoku/8153/8153.html>

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(お知らせ)

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479 (三菱UFJ信託銀行本店証券代行部) } 通話料無料
0120-684-479 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) }

インターネットアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

株主優待制度

所有株式数に応じて、全国のレストラングループの各店舗*で利用できる株主優待券を、年2回ご提供しています。

*モスバーガーグループの各店舗：モスバーガー、マザーリーフ、カフェ・レジェロ、ステファングリル、ちりめん亭、AEN、chef's Vなど。(一部店舗を除く)

■発行日 6月、11月頃(予定)

■対象基準

単元株(100株)以上の株式を所有している方が対象となります。6月発行分は、3月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

■優待内容(消費税含む)

100株以上 500株未満 年間 1,000円分(500円×1枚×2回)
500株以上 1,000株未満 年間 6,000円分(500円×6枚×2回)
1,000株以上 年間 20,000円分(500円×20枚×2回)

■有効期限

6月発行分 翌年3月末日まで、11月発行分 翌年9月末日まで

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、右記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8153

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間(2007年8月31日まで)です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



*本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 MAIL:info@e-kabunushi.com

表紙イラスト/漆原冬児



お問い合わせ先
広報IR室 Tel 03-3266-7171



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県奥町との連携により実現した「森の町内会一問一答」に寄与した紙一を使用しています。



この印刷物は自然環境保護のために古紙パルプ配合率100%再生紙を使用し、大豆油インキで印刷しております。